

平成30年度
周南市こども議会
【 会 議 録 】

平成31年1月31日
周南市教育委員会

平成30年度 周南市子ども議会 議事日程（第1号）

平成31年1月31日（木曜日） 午後1時30分開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 一般質問

議長

周南市議会 小林 雄二 議長

出席議員（27名）

徳山小学校	藤井	千宙	ふじい	ちひろ	議員
徳山小学校	福田	康太	ふくだ	こうた	議員
徳山小学校	徳永	麻里絵	とくなが	まりえ	議員
徳山小学校	渡邊	悠伽	わたなべ	ゆうか	議員
徳山小学校	佐田国	亮太	さだくに	りょうた	議員
徳山小学校	河島	実音	かわしま	みお	議員
徳山小学校	濱本	颯馬	はまもと	そうま	議員
徳山小学校	前原	朱里	まえはら	あかり	議員
戸田小学校	福本	茉莉	ふくもと	まり	議員
戸田小学校	中野	咲弥	なかの	さや	議員
戸田小学校	光成	竣	みつなり	しゅん	議員
戸田小学校	山下	莉華	やました	りか	議員
沼城小学校	矢野	こころ	やの	こころ	議員
沼城小学校	安富	真悠美	やすとみ	まゆみ	議員
沼城小学校	岩崎	実優	いわさき	みゆう	議員
沼城小学校	岡田	絆真	おかだ	きずな	議員
沼城小学校	村田	菜ノ美	むらた	なのみ	議員
鼓南小学校	清水	葉平	しみず	ようへい	議員
鼓南小学校	太田	陽菜	おおた	ひな	議員
鼓南小学校	山崎	春菜	やまざき	はるな	議員
鼓南小学校	林	璃空	はやし	りく	議員
鼓南小学校	東	啓喜	ひがし	けいき	議員
勝間小学校	沖本	春生士	おきもと	はいじ	議員
勝間小学校	木本	朱音	このもと	あかね	議員
勝間小学校	佐伯	音寧	さえき	ねね	議員
勝間小学校	清	実悠紀	せい	みゆき	議員
勝間小学校	大澤	里緒	おおさわ	りお	議員

欠席議員（1名）

勝間小学校 石田 那珠 いしだ なみ 議員

説明のため出席した者

市 長	木村	健一郎	君
副 市 長	住田	英昭	君
教 育 長	中馬	好行	君
上下水道事業管理者	渡辺	隆	君
モータースポーツ競走事業管理者	山本	貴隆	君
監 査 委 員	中村	研二	君
政策推進部長	山本	敏明	君
行政管理部長	小林	智之	君
財 政 部 長	近光	慎二	君
地域振興部長	原田	義司	君
環境生活部長	橋本	哲雄	君
福祉医療部長	大西	輝政	君
こども健康部長	中村	広忠	君
経済産業部長	弘中	基之	君
建 設 部 長	中村	一幸	君
都市整備部長	岡村	洋道	君
中心市街地整備部長	重岡	伸明	君
新南陽総合支所長	上杉	方治	君
熊毛総合支所長	渡辺	由也	君
鹿野総合支所長	潮田	誠	君
消 防 長	村野	行徳	君
上下水道事業管理者	渡辺	隆	君
上下水道局副局長	井筒	守	君
教 育 部 長	久行	竜二	君

議会事務局職員出席者

議会事務局長	藤田	真治	君
--------	----	----	---

○議長

皆さんこんにちは。周南市議会議長の小林 雄二であります。平成30年度周南市こども議会開会前に一言ご挨拶を申し上げます。

皆さんがおられるこの場所が、周南市議会の議場です。今日はここで、学校で学習した議会のことや政治の仕組みなどを体験していただきます。

この議場は、市民に選ばれた市長や市議会議員が、周南市のまちづくりのことを議論し、決定をする大切な場所です。

今日は、議場が新しくなってから、初めての「こども議会」の開催になりますが、皆さんが市議会議員の議席に着き、こども議員となって質問や提言をしっかりとしてください。大いに期待をしております。

市長や、市役所で市民のために仕事をされている職員の方からも、真剣にお答えがいただけるものと思います。

今日は、どうぞよろしくお願いいたします。

続いて、市長からあいさつがあります。

◎市長

こんにちは。周南市長の木村健一郎です。

本日のこども議会は、こども議員の皆さんが、学校の勉強を通して考えてくれた周南市のまちづくりについて、本物の議場で、直接に意見を交わし合うことのできる大切な場です。

皆さんの熱い思いの込もった質問や提案に対して、私もしっかりとお答えをしようと思っております。そして、本日の皆さんの良い意見や提案は、しっかり市政に反映してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長

続いて、副市長から順次、理事者の自己紹介をお願いいたします。

◎副市長

副市長の住田でございます。私の仕事は、市長のサポート役として、毎日頑張っております。よろしくお願いいたします。

◎行政管理部長

行政管理部長の小林智之です。災害から市民の安心安全を確保するため、防災情報収集伝達システムの整備を進めております。どうぞよろしくお願いいたします。

◎地域振興部長

地域振興部長の原田義司と申します。文化、スポーツ、そして観光、そして皆さんの身近な自治会等の仕事を担当しております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎政策推進部長

政策推進部長の山本敏明でございます。仕事は、周南市をもっといいまちにするため、そして、周南市の情報を皆さんに伝える仕事をしていきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎財政部長

こんにちは、財政部長の近光慎二でございます。財政部では、市民の皆さんから税金としてお金を集め、集めたお金をまちづくりに必要な仕事に配分しております。本日はよろしくお願いいたします。

◎福祉医療部長

福祉医療部長の大西輝政でございます。高齢者や障害者、経済的に困っている方への支援と、地域医療の充実を担当しています。本日はよろしく願いいたします。

◎こども健康部長

こんにちは、こども健康部長の中村です。子ども、子育て家庭のこと、そして市民の健康に係る仕事をしています。よろしく願いします。

◎環境生活部長

皆さんこんにちは、環境生活部長の橋本哲雄でございます。私の仕事は、皆さんの生活に直結したごみや野犬、それから交通安全、それから住民票や国民健康保険等の仕事を担当しております。本日はよろしく願いいたします。

◎消防長

火災や救急などへの対応を担当しております、消防長の村野行徳と申します。本日はどうぞよろしく願いします。

◎経済産業部長

皆さんこんにちは、経済産業部長の弘中です。経済産業部では、商業、工業、農業、林業、水産業等の産業振興と、それから、動物園の管理運営を担当しております。本日はどうぞよろしく願いします。

◎建設部長

建設部長の中村でございます。建設部は、道路、河川、住宅など皆さんの普段の生活を支える仕事をしております。本日はよろしく願いいたします。

◎都市整備部長

皆さんこんにちは、都市整備部長の岡村洋道と申します。都市整備部は公園や区画整理など都市基盤整備を担当しております。本日はよろしく願いします。

◎中心市街地整備部長

中心市街地整備部長の重岡です。私は、徳山駅周りの整備やまちの賑わいの仕事をしております。本日はよろしく願いいたします。

◎教育長

小中学校のお世話をさせていただいております、教育長の中馬好行と申します。今日は皆さんどうぞよろしく願いいたします。

◎教育部長

教育部長の久行竜二と申します。教育長のサポートをしながら、学校教育や社会教育のお世話を担当しております。本日はよろしく願いいたします。

◎上下水道事業管理者

水道事業と下水道事業を経営しております、上下水道事業管理者の渡辺と申します。今日はよろしく願いいたします。

◎上下水道局副局長

上下水道事業管理者をサポートしながら仕事をしております、上下水道局副局長の井筒守と申します。どうぞよろしく願いいたします。

◎モーターボート競走事業管理者

モーターボート競走事業管理者の山本貴隆と申します。ボートレース徳山を経営しております。ボートレースの収益が、皆さま方子どもの医療費の無償化に役立っております。

本日はよろしくお願いいたします。

◎監査委員

監査委員の中村研二でございます。周南市のお金や財産が正しく使われているか、厳しくチェックしております。どうぞよろしくお願いいたします。

◎新南陽総合支所長

皆さんこんにちは、新南陽総合支所長の上杉でございます。新南陽の地域のまちづくりを担当しています。本日はよろしくお願いいたします。

◎熊毛総合支所長

皆さんこんにちは、熊毛総合支所長の渡辺由也です。私は、熊毛地域の市民サービスを担当しております。今日はよろしくお願いいたします。

◎鹿野総合支所長

皆さんこんにちは、私は、鹿野総合支所長の潮田誠と申します。鹿野地域全域のまちづくり、市民サービス等を担当しております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎議会事務局長

皆さんこんにちは、市議会事務局長の藤田と言います。議長をサポートさせていただいてます。今日は皆さん頑張ってください。

午後1時40分開会

○議長

ただいまから、平成30年度周南市こども議会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、前原朱里議員、福本茉莉議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長

日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りします。

こども議会の会期は、本日1日間としたいと思います。これに、ご異議ありませんか。

【 議員から、「異議なし」と呼ぶ者あり 】

○議長

ご異議なしと認めます。こども議会の会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3 一般質問

○議長

日程第3、一般質問を行います。

こども議会における一般質問は、6つのグループに分かれて行います。

各グループの一般質問は、まず、議員の代表者が「周南市の未来像」を発表いたします。次に、各議員から「自分ができること」、「学校や地域でできること」などを発表いたします。それを踏まえて、市長に対して、議員の代表者から質問や提言があります。

議会では、本来、資料等は用いず、発言だけで議論を進めることが原則であります。

しかしながら、本日、こども議員の皆さんが、これまでの学習の成果を示すため、また、市長や理事者にわかりやすく説明するため、資料等を用意しているグループについては、事前に私の方でその内容を確認いたしておりますので、資料の持ち込みを許可いたします。

それでは、徳山小学校1班の皆さん、質問席に移動してください。

【 徳山小学校1班4名、質問席に移動 】

質問順位第1番、徳山小学校1班

藤井千宙議員、福田康太議員、徳永麻理絵議員、渡邊悠伽議員。

◆徳永麻理絵議員

徳山小学校6年の徳永麻理絵です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは「商店街をにぎやかにしよう」というテーマで提案します。徳山商店街は昔、とても賑わっていたと聞きました。しかし今は、以前に比べると人通りが少なく、シャッターが閉まっている様子も見られるようになりました。このままでは、人と人とが交流する場所が少なくなり、寂しさを感じてしまいます。

たくさん交流をもてる、にぎやかでまた訪れたいくなるまちになるよう、自分達ができることを考えましたので、一人ずつ発表します。私は、何度も訪れたいくなるきれいなまちになるよう、進んでゴミ拾いをします。

◆藤井千宙議員

徳山小学校6年の藤井千宙です。私は、まちが元気で明るくなるよう進んであいさつをしていきます。あいさつをすることで、お互いが温かい気持ちになり、そこからあいさつが広がって、まちが元気で明るくなっていった欲しいと思ったからです。

◆渡邊悠伽議員

徳山小学校6年の渡邊悠伽です。ぼくは、地域行事に参加して地域の方とたくさん交流をもちたいです。

◆福田康太議員

徳山小学校6年の福田康太です。ぼくは、自分達の目指すまちづくりを自分達の手でつくりあげることができるよう、ポスターなどを作って多くの人に知ってもらおう活動をします。

◆渡邊悠伽議員

ぼく達のテーマである、「商店街をにぎやかにする」ために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

それは、商店街の空いた店舗を利用して地域の人たちと勉強をしたり、昔の遊びを教わったりするなどの交流を図ったり、学校や地域で作った作品を展示する「芸術ロード」を作ったりするなどして、足を運びやすい環境をつくることです。学校と地域が一体となって取り組むことで、より継続的な活動になると考えます。

◆福田康太議員

そこで、市長に提案します。

1つ目は、徳山駅前商店街で市民主体となる、子供から大人までが楽しめるフリーマーケットを開催して欲しいということです。今、徳山駅前がリニューアルし、賑わいを見せはじめています。ここで子供から大人までが楽しめるイベントを取り入れたフリーマーケットを行うことで、商店街に訪れる人も増え、賑やかになると考えます。また、地域や学校と連携を図りながら実施していくことで、市民主体で継続的な活動になると考えられます。

例えば、防府市では、企業や商店街、行政が一体となり、「愛情防府フリーマーケット」を開催しています。市内外から多くの方が訪れ、例年約10万人以上が訪れるイベントとなっています。このように、市民やまち全体を取り込みながら、参加することのできるイベントにしていくことで、市民の主体性が生きていくのではないのでしょうか。

2つ目は、フリーマーケットの中で環境を意識したイベントを開催してほしいということです。エコバックの持参やエココーナーを設置することで、楽しみながら環境についてしっかり考えてもらう機会を作りたいと考えます。フリーマーケットで買い物をする際にマイバックを持参するリデュース、いらなくなった物をフリーマーケットで販売するリユース、ペットボトルや牛乳パックを集めるリサイクルの「3R」や環境を学ぶコーナーを作ることで、市民全体で環境について継続的に考える機会になると考えます。

以上2つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

商店街をにぎやかにしよう、周南市に昔のような賑わいを取り戻そう、という皆さんのお気持ちは、しっかり伝わってきました。周南市では現在、中心市街地活性化基本計画というのをたてて、いろいろな施策を行いながら、着実に今、まちを賑やかにしているところです。

例えば、歩行者通行量や中心市街地の新規出店数というような具体的な目標を定めて、平成25年から30年まで目標値を、出店数が152、通行量もこれを大きく上回るという数値をあげています。

また、皆さん駅前図書館に行ったことがありますか。駅前図書館が去年の2月にできまして、もうじき来られた人が200万人に達します。そして、ちょい乗りバスに乗ったことはありますか。駅から動物園まで20分おきに往復をする、そういういろいろな取組をしながら、実は新しい流れが生まれつつあります。まちが賑やかになってきていると思っています。これは商店街だけではなくて、中心部をどのように賑やかにするかということを思っています。

そして我が市の商店街であります。私は歩いて買い物ができるというのが、ひとつの大きな特徴だと思っています。みなみ銀座のアーケード、銀座、中央街、銀南街こういう街中に加えて、銀座通りを時々歩行者天国にします。こどもっちゃ商店街、これ参加された議員の方も多いのではないかと思います。80ぐらいの職場体験を11月23日に行いました。また、賑わい交流施設ができて1年ということ祝って、2月にはきさらぎ文化祭があり、駅前図書館を中心に、私が知っている限りでも、2月に18のイベントが行われます。他にもですね、例えば徳山あちこちマルシェ、周南みなとまつりなど、いろんなイベントがまちなかでは積極的に行われているところがございます。

そして今、ご提案いただきました、フリーマーケットの開催、面白いのは、賑わいとエコ推進、これを一石二鳥、ひとつのイベントで賑わいを生んで、環境にもいい取組をしようという、大変ユニークな提案をいただいたところでもあります。

今周南市では、リサイクルプラザ「ペガサス」というのが、臨海町にありまして、そこでは「環境館」というゴミの減量化・リサイクル意識の高揚を図るための啓発施設があって、そこでほぼ毎年2回、エコフェスタとしてイベントも開催しているところです。そういうノウハウもいろいろ

ろありますので、ぜひそれを活かしながら、商店街などの街中で展開することも含めてしっかり検討したいと思えますし、また商店街を芸術ロードにするという提案もいただきました。こちらでもさっそく検討してみようと思えます。部長の方で何かあれば、追加の答弁をしてあげてください。

◎中心市街地整備部長

まちの賑わいと環境問題を結びつけて考えるアイデアはとっても素晴らしいと思えます。今どちらも多くの市で問題になっていることであるからです。さて、まちの賑わいですが、これは一部の人だけで頑張ってもなかなかできません。そこで市役所では、まちで活躍する人たちや、商店街の人たち、またそういった方を集めて、みんなで話し合っ、アイデアを出し合っ、活動しています。そういった活動から、2カ月に一回開かれています徳山あちこちマルシェというの、できるようになりました。皆さんの考えも、まちの話し合いの中でご紹介して、ぜひ取り入れて実現していきたいと考えています。

それと徳山駅の周りでは、小学生を対象としたイベントもたくさん行っております。先ほど市長もいくつか説明しましたが、周南こどもドリームスクールというのを夏にやっていたり、秋には、ハロウィンカーニバルやこどもっちゃ商店街といったイベントもしております。皆さんは今年、中学生になられますけど、後輩の皆さんにぜひ紹介してください。ご提案ありがとうございました。

○議長

再質問はありませんか。

◆藤井千宙議員

ありがとうございます。実際にしていただけるのであれば、PRが必要になると思えますが、それをしていただけますか。

◎市長

周南市には、今、広報戦略課という部署があります。もちろん、皆さんも自分たちでポスターを作ったり、こんなイベントがあるよというのを知らせて欲しいと思えます。商店街のイベントの中で、環境についての啓発活動を行うというのは、本当にユニークなアイデアだと思います。開催する際には、徳山小学校の皆さんから頂いたアイデアという点も含めて、しっかりとPRしていきたいと思えます。それもいろんな方法で、広報やフェイスブックやツイッター、ホームページなどいろんな方法で、ぜひ宣伝していきたいと思えます。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、徳山小学校1班の一般質問を終了いたします。

【 徳山小学校1班4名、議員席に移動 】

○議長

次に、徳山小学校2班の皆さん、質問席に移動してください。

【 徳山小学校2班4名、質問席に移動 】

質問順位第2番、徳山小学校2班

佐田国亮太議員、河島実音議員、濱本颯馬議員、前原朱里議員。

◆佐田国亮太議員

徳山小学校6年の佐田国亮太です。一般質問をいたします。

初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

ぼくたちは「野犬がいない安全、安心なまちづくり」というテーマで提案します。徳山小学校区には、野犬がいて、登下校や学校から帰って公園で遊ぶときなどに、怖い思いをすることがあります。あるクラスでアンケートをとると、約83パーセントの人が野犬を見たことがあるという結果でした。見られた場所は、児玉公園や市役所の近くでした。

また、校区外では、緑地公園に多くの野犬がいるようです。

そこで、「野犬がいない安全、安心なまちづくり」にするために、自分たちや地域ができることを考えましたので、発表します。

◆河島実音議員

徳山小学校6年の河島実音です。

私は、そのために、野犬を見たら、すぐにおうちの人に言って、保健所に連絡してもらおうことが大切だと考えます。そうすれば、野犬がいる場所を特定できるからです。

◆濱本颯馬議員

徳山小学校6年の濱本颯馬です。ぼくは、安易に犬を飼わないことを、チラシやポスターをつかって、呼びかけたらよいのではないかと考えます。なぜなら、犬のしつけや毎日の散歩などの大変さを知らずに、軽い気持ちで飼い始めてしまい、捨ててしまう人がいるからです。

◆前原朱里議員

徳山小学校6年の前原朱里です。私は、生き物の命の大切さについて理解してもらおうことが大切だと考えます。そうすれば、軽い気持ちで飼い始め、捨ててしまう人がいなくなるからです。

◆河島実音議員

そこで、市長に提案します。

1つ目は、野犬の保護施設を作っていただければうれしいです。そこでは、野犬が安心して過ごし、時には、動物園のふれあいコーナーのように、犬が好きな大人や子供とふれあうことができるといいのではないかと考えます。

2つ目は、ペットの命の大切さを訴えるホームページを開いてはどうかと考えます。

例えば、犬の一生の物語を漫画にします。人間のペットになって幸せに過ごしていく物語と捨てられて悲しい目にあう物語の両方を漫画にして見てもらうことで、動物の命の大切さを理解してもらいたいと思います。そのようなホームページを開設していただくことで、犬を捨てる人を少しでも減らすことができると思います。

以上2つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

野犬の問題は、周南市の大きな課題の一つであります。皆さんが、今ある問題にしっかり向き合って、そして真剣に考えてもらっている、いろいろと調べて、勉強されてきたこと、これまでと違った角度からの提案をいただいたことを大変うれしく思います。野犬対策というのは、狂犬病、これは大変怖い病気であります。狂犬病などの病気から県民を守るという立場で、野犬を捕獲するのは県の仕事、捕獲して管理するのも県の仕事です。周南市、下松市、光市を管轄してお

ります周南環境保健所がそういう仕事を行っています。

市の仕事であります、犬を正しく飼っていただくための犬の飼い方教室、飼い犬の登録、市民の方が犬と一緒に安心して暮らすためのサポートをするというのが、市の仕事になります。もちろん市としても野犬対策はしっかりやっけていかないといけないので、県の保健所の捕獲に協力したりしております。そして野犬が増えないための環境整備、これは市の仕事になります。むやみなえさやりを防ぐためのパトロールも行っておりますし、野犬対策は、市だけで解決できる問題ではないので、保健所や地域の方々と“共に”しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

そしてまた、ユニークな観点だなと思ったのが、「命の大切さ」を訴えるホームページ、実は周南市ではいろいろな形で命の大切さをしっかり市民に訴えようということで、例えば、徳山動物園では毎年動物の供養祭というのをしております。動物園で亡くなった動物だけではなく、それぞれのご家庭で飼っておられたペットが亡くなっても、そういう供養祭をしておりますし、水産物市場では、フグ魚介類供養祭をするなど、生き物を大切にしようことを市民の方に訴えていくことをやっています。

この命の大切さを訴えるホームページは、ご提案のとおり野犬の増加防止にとっても有効だと思いますので、早速、命の大切さを訴えていくことを既存のホームページの中でコーナーを開設するよう、検討したいと思っております。

それからもう一つ、野犬の保護施設を作ってはどうかというご提案であります。市役所、実は、何をするにしてもお金がかかります。ポンポンと手をたたけば、上からバラバラバラとお金が降って来るのではなくて、皆さんから集めた税金をどのように有効に使って運営をするのか。市民の幸せ、安心安全を守るための、そういう税金の使い方、これを決めるのが、ある意味では政治であります。

それで野犬の保護施設、皆さんからご提案いただいたので、ちょっと調べてみたのですが、私が調べる限りでは、全国の自治体で、野犬の保護施設を作っているところはないのではないかと思います。それはですね、保護施設を作るのに、大変多くのお金が必要になってくるからです。保護施設を作った場合にですね、施設を運営するために一年間で必要なお金は、ある民間団体のホームページを見てみますと、2500頭分のえさ代、ワクチン、手術代などで、約2億円、100人近いスタッフの人件費で約2億5千万円、水道・電気・消耗品代・施設の補修費などで約3億5千万円。周南市ではそこまで大規模なものは必要ないですが、それでも施設の運営には毎年億単位のお金が必要になると思います。ちなみに民間施設でかかったお金が8億円と書いてありますが、皆さま方の小学校・中学校の学校給食の給食材料費や給食センターの管理運営費など給食に係る予算が10億5千万円ですから、やはりお金の使い方というのは、よく考えながら、選択をしていかなければならないと思っております。部長から何かありましたら、答弁をお願いします。

◎環境生活部長

皆さまが通っておられる徳山小学校区におきましても、市民の皆さまから野犬の情報などいただいております。市長が申しましたように、野犬の対策については、大変重要な課題で、なかなか解決ができない問題の一つであります。ご提案いただいた、命の大切さを訴えるというところでございますけれど、市のホームページの中で、環境政策課が、市がどのように野犬対策を行っているかということを紹介するコーナーを作っております。そういった中で命の大切さを訴えることができるコーナーを作っていきたいと考えております。よろしく申し上げます。

○議長

再質問はありませんか。

◆濱本颯馬議員

ホームページについて、ありがとうございます。他にも、愛犬家や愛猫家の方に、ペットの命の大切さを感じるような講演会を開いていただくことは可能でしょうか。

◎市長

周南市では、これまでも、野犬対策キャンペーンや犬の飼い方教室などの啓発活動を実施しております。講演会も何度も行っております。しかし、「命の大切さを訴える」というような、市民の皆さんの「気持ち」や「心の持ち方」に訴えるような活動は、一回講演会をやって、みんなが命を大切にしなければいけないとパッと思うようなものではないと思います。短期間でなく時間をかけて成果が出るまで、何度も何度もやっていかなければならない、成果がでるまで、ゆっくりに時間のかかる大変難しいことだと思っています。

ご提案のあった講演会も含めまして、動物園を利用するなど様々な角度からの啓発事業に継続的に取り組んでいきたいと思っています。いろんな方法でやっていかなければなりません。ぜひ議員にもご協力をしていただきたいと思います。少しでも多くの人たちが参加して、そして自分たちが本当に命を大切にしないといけないんだと、命の大切さが伝わるように、市もしっかりと努力していきたいと思っています。“共に”進めましょう。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、徳山小学校2班の一般質問を終了いたします。

【 徳山小学校2班4名、議員席に移動 】

○議長

次に、戸田小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 戸田小学校4名、質問席に移動 】

質問順位第3番、戸田小学校

福本茉莉議員、中野咲弥議員、光成竣議員、山下莉華議員。

◆山下莉華議員

戸田小学校6年の山下莉華です。一般質問をいたします。はじめに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは「明るく 活気があるまちにするために」というテーマで提案します。

私たちが住む、戸田地区は、自然豊かで、周南市唯一の道の駅である「ソレーネ周南」もあるまちです。しかし、最近、ソレーネ周南で指名手配犯が捕まるという悲しいニュースがありました。また、戸田小の遊具が安全のため撤去されたり、小学校の児童数や、お店の数が減ってきたりしていることも、心配しています。

そこで、たくさんの方が集う、安心安全なまちにしたいという意見が多く出され、このテーマが決まりました。地域の中心になっている戸田小と、周南市唯一の道の駅「ソレーネ周南」を核にして、たくさんの方が集う笑顔いっぱいのまちにしたいと思っています。

このテーマをめざして、自分たちにできることを考えたので、一人ずつ発表します。

私は、そのために、地域やソレーネ周南の行事に進んで参加したいと思っています。

◆福本茉莉議員

戸田小学校6年の福本茉莉です。私は、そのために、進んであいさつをします。

◆中野咲弥議員

戸田小学校6年の中野咲弥です。私は、そのために、ゴミを拾ってきれいなまちになるようにしたいです。

◆光成竣議員

戸田小学校6年の光成竣です。ぼくは、そのために、ボランティア活動に参加します。

◆中野咲弥議員

私たちのテーマである、「明るく 活気があるまち」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、戸田小学校でできることについて発表します。

それは、総合的な学習の時間を使って、「地域の良いところ探し」をし、それをもとに、戸田のコマーシャルを作ることです。コマーシャル作りをすることで、今まで知らなかった地域のよさを再発見し、戸田地区のことをさらに好きになれると思います。また、コマーシャルでたくさんの人に戸田の良さを知ってもらえると思います。

◆福本茉莉議員

次に、学校と地域が協力してできることについて発表します。

それは、スタンプラリーです。総合的な学習の時間で学んだことをいかして、戸田の良さが分かるところをポイントにして歩くのです。ポイントには、プレゼントを置いたり、お店を出したりすることで、たくさんの人が集まり、笑顔でいっぱいになることができると思います。子どもから大人まで、一緒に歩きながら、楽しく戸田の良さを再発見でき、さらに、地区外から参加した人にも、地域の良さを知ってもらえると考えました。

◆光成竣議員

ぼくたちは、戸田地区を盛り上げることで、周南市を盛り上げたいと考えています。

そこで、市長に提案します。

1つ目が、戸田地区のコマーシャルを作るので、専門家の方の協力をお願いするなどのサポートをしてほしいということです。そうすれば、よりよいコマーシャルが作れ、周南市のアピールにつながると考えます。

2つ目が、地域を再発見「みんなで歩こう会」を開催してはどうかということです。子ども、地区、周南市と一緒に、地域再発見するためのスタンプラリーを行うことで、地域を愛する子どもが育ち、地域も盛り上がり、周南市の良さもたくさんの人に知ってもらえると思います。

3つ目は、環境面についてです。ソレーネ周南に、グランピングできる場所や、コマーシャルを流すコーナーを作ったり、戸田小学校に、遊具を設置したりすることで、たくさんの人が集まるまちになると思うのですが、いかがでしょうか。

以上3つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

自然豊かな戸田地区の戸田小学校の皆さんからの戸田地区から周南市を盛り上げたいという心意気、しっかり受け止めて、大変感動をいたしました。

ところで、悲しいニュースや人口減少でマイナスなイメージが耳に残ることもありますけど、実は市長は、あちらこちらで「悪い奴を捕まえたソレーネ周南がある、正義のまちです」と言っ

ています。ニュースによって、ソレーネ周南の名前がいい意味で広がっていますから、どうぞこれを逆にチャンスと捉え、皆さんの提案の中で実現しそうなものは、実行していきたいと思っています。

PRの商業動画、これは大変効果があるものと思っていますし、周南市は、9つの中山間地域、31のコミュニティのうち、9つの中山間地域でつくりましたし、ふるさと振興財団の方で、31の各コミュニティのPR動画をつくったこともあります。また、ユーチューブ使ったりしませんか。「暮らすメイトになろう」で検索してもらったらいいんですが、クラスっていうのは、生活をするって言う「暮らす」、それと「クラス」をかけて「暮らすメイトになろう」という移住PR動画で、これは何年か前に子どもたちが制作した動画なんです。大変人気の動画を周南市の子どもたちが絵コンテからずっと作っています。

そして皆さんが作りたいというとき、小学生が企画して行動して取り組むということをお思いでありましたら、先ほど言いました市役所には広報戦略課を含めまして、皆さんの取組を支援できる職員もいますので、実行の際には、ぜひとも協力していきたいと思います。

昔のように大きなお金を掛けなくても、今はスマホひとつあれば、いろんな動画が撮れると思います。それから提案の中にあつた、グランピングやスタンプラリーなどの新しいアイデアも、道の駅を運営する団体に、戸田小学校の生徒からのアイデアとして紹介していきたいと思います。

何事も「イメージ」が大切ですよね。戸田地区にはいろんな戸田地区を良いイメージで発信したいものがたくさんあると思っています。灯籠流しに私も行きますし、西徳山のフェスティバル、いろんなイベントも道の駅で行われています。何よりも皆さんには、子どもの消防団のこともぜひPRしてもらいたいと思っています。まずは、戸田小学校の皆さんが、元気いっぱいの斬新なアイデアで、より良いイメージを発信することで、地域の人たちもますます盛り上がっていき、ますます明るく、すばらしい活気あふれる戸田になると思います。

“共に”進めていきましょう。

○議長

再質問はありませんか。

◆福本茉莉議員

ソレーネ周南に情報コーナーがありますが、そこで、私たちが作った商業動画を流すことは可能でしょうか。

◎市長

ソレーネ周南には、道の駅に24時間利用できる情報コーナーがございます。その場所では、道路情報や地域の特産物の情報なども、発信することができます。戸田小学校の皆さんが、商業動画を作ったり、ポスターを描いてくれれば、運営をお願いしている団体とも協力し合って、喜んでその場所を提供していきたいと思っています。そしてその際は、戸田小学校の皆さんから頂いたアイデアという点も含めて、戸田地区の良さをしっかりアピールしていきたいと思っています。

○議長

先ほどの質問の中で、グランピングができる場所が作れますかとの質問がありましたので、それに対して、答弁をお願いします。

◎経済産業部長

先程のグランピングという言葉、目新しい言葉ですけれども、グランピングとは、glamorous(グラマラス)とcamping(キャンピング)を掛け合わせた造語で、ホテル並みの設備やサービスを利用しながら、自然の中で快適に過ごすキャンプのことを指しているということでございます。

さてソレーネ周南で、そういったホテル並みのサービスができるのかということでございますが、今回貴重なご意見をいただきましたところ。例えばソレーネ周南で、来られた方にバーベキューセットを提供するといった取組をぜひ検討させていただけたらと思っております。できれば、来年の夏ぐらいには、それが実現できればいいなと思っております。研究してみないといけないので、若干の課題はあるのですがぜひ検討させていただけたらと思います。

○議長

他に再質問はありませんか。

◆中野咲弥議員

みんなで話し合ったときに、地域を生かした、テレビの番組でやっている「逃走中」というゲームを企画してみたいという意見も出されました。ソレーネ周南と学校とで協力して企画していくことは可能でしょうか。

◎市長

企画していくことは可能です。斬新なアイデアを大いに期待しています。ただし、やはり企画していくということは、それを実現に向けて進めていかなければなりません。ソレーネ周南もあなた方の熱意に必ず協力してくれると思います。市も出来る限りの協力をいたしましょう。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、戸田小学校の一般質問を終了いたします。

【 戸田小学校4名、議員席に移動 】

○議長

一般質問の途中ですが、ここで暫時休憩いたします。

次の会議は、14時50分から再開いたします。

14時35分休憩

14時50分再開

○議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

ここで発言の申し出がありましたので、これを許可いたします。

◎経済産業部長

先ほど、戸田小学校の光成竣議員からのお尋ねで、グランピングができる場所は作れないかとのお尋ねに対し、私の方からいろいろと課題は多いけれども、来年の夏にはバーベキューセットを貸し出す等のような取組・研究をしたいとお答えいたしましたが、正しくは今年の夏でございます。訂正してお詫び申し上げます。

○議長

次に、沼城小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 沼城小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第4番、沼城小学校

矢野こころ議員、安富真悠美議員、岩崎実優議員、岡田絆真議員、村田菜ノ美議員。

◆矢野こころ議員

沼城小学校6年の矢野こころです。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちの沼城小学校は、須々万、中須、大道理、大向、長穂の5地区から子どもが通ってきています。わたしたちは、「人が増え続け、多くの人がつながり合う町にするために」というテーマで提案します。

現在、須々万地区では、少子高齢化が進んでいます。平成17年には、5295人だった人口が、平成30年には4586人と、約700人減っています。しかし、65才以上の人口は、1222人から1691人とおよそ500人も増えています。

このままでは、私たちが大人になる頃には人が全然いない町になってしまうので、そうならないために、まず、自分たちでできることを考えました。

◆安富真悠美議員

沼城小学校6年の安富真悠美です。須々万地区では現在、多くのイベントやお祭りが、地区の主催で行われています。特に、11月に行われる「須々万鍋S-1グランプリ」には、今年度は800人が参加し、年々増えていっているように思います。それぞれの鍋のアピールポイントが書いてあったり、味に工夫がしてあったりと、多くの人を楽しませたいという努力がたくさん感じられるイベントになっています。

このようなイベントを開催することが「人が増え続ける町にするために」は大切だと考えます。そこで私たちは、イベント開催を中心に、まず、自分たちでできることを考えました。

◆岩崎実優議員

沼城小学校6年の岩崎実優です。私は、そのために地域で行われる行事やイベントに積極的に参加し、楽しみます。

◆岡田絆真議員

沼城小学校6年の岡田絆真です。ぼくは、そのために地域行事やイベントにボランティアとして参加します。

◆村田菜ノ美議員

沼城小学校6年の村田菜ノ美です。私は、そのために、紹介ポスターを作り、さらに地域の参加が増えるように宣伝活動をします。

◆岩崎実優議員

私たちのテーマである、「人が増え続け、多くの人がつながり合う町」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

それは、他の地域や周南市と協力し、地域行事の規模を大きくすることです。イベントやお祭りの規模を大きくすることで、より多くの人須々万地区に来ます。楽しいイベントに参加しながら、町に住んでいる人たちと触れ合ったり、町の良さを知ることによって将来、この町に住んでみたいと思う人が増えたり、この町に家を建てて子どもを育ててみたいと思う人が増えると思います。

ただ、そこには規模を大きくするためや宣伝をするためにお金が必要になります。

◆岡田絆真議員

そこで、市長に提案します。

1つ目が、地域行事を活性化させ、多くの人を呼び込むために、他の地域や他市への宣伝周知予算等の面を含めての協力です。

SNSや地域の予算で作成するポスターやチラシでは、今の規模を大きくするには限界があります。また、材料の仕入れ予算などにも限界があります。

そこで、市の広報やホームページ、他市とのつながりを使うなどして宣伝してもらったり、予算の補助をしてもらったりしてほしいのですが、いかがでしょうか。

◆村田菜ノ美議員

2つ目が、市内と中山間地域を結ぶ交通手段、中山間地域における施設、設備を充実させて暮らしやすい町を目指してほしい。また、子供にかかるお金を実質無料化し、子育てや出産にかかる家庭の負担をなくしてほしいということです。

せっかく、地域や私たちの力で多くの人に地区の良さを宣伝しても、住んでもらえなければ意味がありません。交通手段や施設、設備、負担の面でも市からの援助があれば多くの人が住みたいと思ってくれるはず。子どもからお年寄りまでが暮らしやすい町をめざしてほしいのですが、いかがでしょうか。以上2つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

政治とは何かということ、もう一度考えながらお話を聞きました。政治とは、複数の人、2人以上の人が集まった時に、何かを決めること、それが政治なんですね。例えば友達と二人で歩いていて、さあ右の道に行こうか、左の道に行こうか、私は右、私は左、でも話し合っどどちらか一本の道を行こうとするのが、そこを決めるのが政治なんですね。家族みんなで食事に行こう、ハンバーグにするか、回転寿司にするか、ラーメンにするか、これを決めるのも政治なんですね。

政治っていうのは、皆さんから税金を集めて、その税金をどのように使っていけば、みんなが幸せになるか、安心安全を守れるかを考えるときに、お金がふんだんにあり、市の職員もふんだんにいればね、全て何もかも叶えることができるのですが、何かを選ぶ、というのが政治なんですね。

沼城小学校の皆さんから、「人が増え続け、多くの人がつながり合う町にするため」の、多くの提案をいただきました。私が特に感心し、共感したのは、皆さんの提案の中で「自らが地域で催される行事に参加し、楽しむ」「ボランティアとして参加する」、「自分たちでポスターを作り、宣伝する」などの、沼城小学校の皆さんの、自らも進んで、その一員になって参加するという「主体性」を強く感じられたところであります。

まちづくりは、「誰かにやってもらう」、「誰かがやってくれる」、「行政にお願いする」という気持ちだけでは、絶対だめなんですね。人ごとではなく自分ごととして捉えなければならぬ。そして沼城小学校の皆さんが言われたように、そこに住む人が、繋がりを大切にしながら、そとの人も巻き込んで、企業や行政も一緒になって、まさに”共に”進めていくことが、私の目指すまちづくりです。そういう意味で沼城小学校の皆さんの取組として挙げられたことは、まさに私の目指すところであり、たいへんうれしく思います。

また、須々万地区は大変元気な地域でありまして、私も須々万の「鍋 S-1 グランプリ」に行

き、これも大変おいしく頂きました。議員の皆さんも行かれたのではないかと思います、大変楽しいイベントでございます。2月3日の防府鍋-1グランプリに、ぜひ須々万から参加されてグランプリを取ってほしいなと思っております。

ところで、子育てや出産にかかる負担をなくしてほしいとの提案ですが、限られたお金の中で、全ての人に全く負担がかからないように、という訳にはいきません。現在でも様々な制度で、出産子育ての負担を軽減するような制度を実施しています。

また市内と中山間地域を結ぶ交通手段についても、今あるバス路線をできる限り活かしながら、より使いやすく、生活に密着した制度ができないか、中山間地域の皆さんの話を聞きながら、研究し、進めていきたいと思っています。イベントを盛り上げるための支援についても、予算の補助については、すぐにはいかないが、市広報やホームページなどの活用しながら、いろんな形で協力をしていきたいと思っています。

○議長

再質問はありませんか。

◆岡田絆真議員

市の方でも宣伝のお手伝いをしてもらえるとしたら、具体的にどのような情報を載せていただくことができますか。また、実際にイベントの様子を取材等していただくことは可能ですか。

◎市長

今、須々万地区では市民センターの主事や地域の皆さんが広報誌を発行しておられます。それは、市や関係するホームページにそのまま掲載できます。どうかですね、沼城小学校の皆さん、自分たちが参加して、イベントがより盛り上がるように、しっかり掲載して、できるだけ宣伝してください。

○議長

他に再質問はありませんか。

◆矢野こころ議員

子育て、出産にかかる家庭の負担を少なくするために、市ではどのような取組を行っていますか。私たち子どもが大きくなるまでに、どのような支援がされているのか教えてください。

◎市長

全ての人に全く負担がかからないという訳にはいきません。しかし、先ほども言いましたように、現在でも様々な制度で、出産子育ての負担を軽減するような制度を実施しています。

また大切なのは、経済的な面だけでなく、例えば、出産前後のお母さんの不安の解消を、保健師がお手伝いする「産前・産後サポーター派遣事業」など、お金がなくても人が様々な負担を軽減する事業、こちらの方が大切だと、私は考えています。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、沼城小学校の一般質問を終了いたします。

【 沼城小学校5名、議員席に移動 】

○議長

次に、鼓南小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 鼓南小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第5番、鼓南小学校

清水葉平議員、太田陽菜議員、山崎春菜議員、林璃空議員、東啓喜議員。

◆清水葉平議員

鼓南小学校6年の清水葉平です。一般質問をいたします。

初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

それは、子どもからお年寄りまでみんなが健康で、活力のあるまちをつくることです。鼓南地区では、現在子どもの人数が減り、お年寄りが増えています。これからの未来に子どもからお年寄りまでいろんな年代の人が、ふだんから集って、触れあいながら運動をしたり、おしゃべりをしたり、まちをきれいにしたりして鼓南地区の魅力に磨きをかけることができればいいなと思っています。

まず、「子どもからお年寄りまでみんなが健康で、活力のあるまちづくり」について、自分たちでできることを考えましたので、一人ずつ発表したいと思います。

ぼくは、ゴミを減らすためのポスターを描いて、地域の方や鼓南地区に来た方に呼びかけたいと思います。特に海岸や港の周りのゴミが、掃除してもなかなか減らないからです。

◆太田陽菜議員

鼓南小学校6年の太田陽菜です。わたしは、地域をきれいにするために、鼓南グラウンドや歩道などふだんから通る場所のゴミ拾いから始めたいと思います。美しい環境が、大切だと思うからです。

◆林璃空議員

鼓南小学校6年の林璃空です。ぼくは、緑を増やすために、みんなが集まる場所に花を植えます。花を植えると、まちが明るくなり、体も動かし健康にもいいと思うので、ぼくは花を植えます。

◆山崎春菜議員

鼓南小学校6年の山崎春菜です。わたしは、地域のイベントや準備に積極的に参加します。先ほどお話ししたように、鼓南地区にはお年寄りが増えてきて、イベントの準備も大変になってきていると思うので、わたしたちが地域のイベントの準備に参加すれば、お年寄りの負担も減り喜んでもらえると思うからです。

◆東啓喜議員

ぼくは、そのために出会った人に笑顔で元気なあいさつをします。笑顔で元気なあいさつは、人と人とのつながりを強め、健康で活力のあるまちに必要なと思うからです。

次に、ぼくたちのテーマである、「子どもからお年寄りまでみんなが健康で、活力のあるまち」にするために、一人ひとりができることに加えて、学校や地域が協力してできることを考えました。

1つ目は、学校と地域が協力して清掃活動を企画することで、海や山などの自然を守っていくことです。ぼくたちは、これまでも小学校、中学校、地域、地域の企業と共に年に2回、清掃活動を行っています。しかし、しばらくするとまた海岸周りにゴミが散らかっています。だから、地域の人たちと協力して、多くの人に清掃活動に参加してもらったり、回数を増やしたりしてい

きたいです。今は鼓南の海では泳げませんが、海がきれいになると、海水浴などができ、地区の外からも人が来て、賑やかで活力のあるまちになると思います

◆太田陽菜議員

2つ目は、地域を盛り上げるために、地域のグループと協力してイベントの企画を行います。例えば、夏休みの期間にみんなでラジオ体操を行ったり、夏祭りや文化祭に地域の人と触れ合ったりできる企画を作ります。そうすることで、人と人との絆が深まり、より地域がまとまると思うからです。

◆山崎春菜議員

そこで、市長に提案します。

1つ目は、鼓南地区に公園を造るという提案です。鼓南地区には、鼓南グラウンドがありますが、日頃、自由に遊べないので困っています。小さな子どもたちからお年寄りまでが自由に遊べたり、運動ができたりする遊具のある公園を造ってほしいのです。そうすれば、小さな子どもたちからお年寄りまでが集まって活動できる、健康で活力のあるまちになると思います。

◆林璃空議員

2つ目は、大島と粕島を結ぶ道を広くするという提案です。大島と粕島を結ぶ道は、道幅が狭く交通量も多いので、子どもやお年寄りだけで歩くのは危険です。中学生も自転車通学をすることができません。車がないとそれぞれの地区の方々が交流できない状態です。そこで、大島と粕島を結ぶ道に歩道を付けて道路を広げてほしいです。そうすれば、大島と粕島の人たちとの交流が安全にできます。また、広くて安全な道であれば、美しい鼓南の自然を見ながら散歩したり、サイクリングしたりできるので、地区の外からも人が集まり、健康で活力のあるまちになると思うのですがいかがでしょうか。

以上2つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

鼓南小学校の皆さんから、活力のあるまちにするための、たくさんの意見や提案をいただきました。子どもからお年寄りまでが、みんなが健康で活力のあるまちをつくる、これは本当にまさに私の目指すまちづくりでありますし、うれしかったのは、ゴミ拾い、花を植えること、ゴミを減らすためのポスターを描くこと、そして元気なあいさつをしてくれることでした。そして山崎議員からは、イベントに積極的に参加するだけでなく、イベントの準備に積極的に参加しますという大変頼もしい話を聞きました。

まさに活力のあるまちにするためには、高齢者だけ、若者だけというような一定の年齢の人だけではなく、本当にいろいろな世代の人、立場の人が、それぞれの自分の能力に合わせて頑張っていかなければ、本当の意味での活力のあるまちにはならないなと改めて思いました。活力のあるまちとは、そこに住む人々みんなが、元気に、一緒になって、いろいろなことに取組、挑戦しているまちのことだと思います。提案にありましたように、子どもからお年寄りまで、みんなが集まれる場所があることは、地域の活性化のためには非常に有効だと思います。

しかし、鼓南地区は海と山の恵まれた自然環境にごさいます。そうすると広い場所を確保することは、なかなか難しい地域かなと思いながら議員の提案を聞きました。そんな中でも鼓南地区グラウンドがあります。自由に使えないという部分については、状況を調査して皆さんへの御報告をしなければなりませんし、今利用している方との調整もしっかり諮って、いろんな人たちが利用できるようにしていかなければならないなと思います。

また、鼓南地区と大島地区を結ぶ道は、交通量も多く、道幅も十分とは言えない状況であることは、十分私も承知しています。海と山が鼓南地区では隣接しております。鼓南地区の道路も海と山が隣接しております。そうすると、道幅を広げるための十分な土地もなく、残念ながら「分かりました、すぐにやります」とは言えない、道幅を広げるということは、非常に難しいことだなと思っています。

提案にあったように、今後もコミュニティ活動を続け、日頃から地域の人がお互いを知って、地域の絆を深めて、共に助け合いながら生活されている今のスタイルを維持してもらいながら、現在の路線バスの活用方法、それに代わるコミュニティバスの検討なども、必要に応じて地域で話し合っていたいただいたものが、提案されればと思っています。鼓南地区には貴船祭りが行われる貴船神社や大島干潟もございます。そういう地域の宝、周南市の宝をしっかり磨きあって、子どもからお年寄りまで、地域の人たちとよく話し合いながら、健康で活力のあるまちづくりを“共に”進めていきましょう。

○議長

再質問はありませんか。

◆清水葉平議員

鼓南グラウンドでは、いつ遊ぶことができるのかわかるように、掲示板などで教えていただくことはできますか。

◎市長

鼓南地区のグラウンドについては、広さも十分にあるので、予約がない時間などは、皆さんで積極的に利用してほしいと思っています。そのためには、ご提案のとおり、予約状況を誰もが分かりやすくしておくことが大切です。グラウンドの横にある鼓南支所の掲示板に、毎月の予約状況を掲示するとか、それから今、ネット社会でございますので、ホームページ、また様々な方法で皆さんがひと目で分かるような工夫がいるなと感じながらご提案を伺いました。いずれにしても急いでいる場合は、すぐ支所に連絡してください。空いてますかということ聞いてもらえると助かります。いろんな調整をしながら、この鼓南地区のグラウンドをみんなで有効に活用していければと思います。どうか、これからも素晴らしい鼓南地区、周南市を”共に”作ってまいりましょう。ありがとうございました。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、鼓南小学校の一般質問を終了いたします。

【 鼓南小学校5名、議員席に移動 】

○議長

次に、勝間小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 勝間小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第6番、勝間小学校

沖本春生士議員、木本朱音議員、佐伯音寧議員、清実悠紀議員、大澤里緒議員。

なお、本日大変残念でございますが、石田那珠議員は体調不良のため欠席であります。1日も早く治してまた元気に小学校に通ってください。

◆佐伯音寧議員

勝間小学校6年の佐伯音寧です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは、私たちの住む熊毛地区や周南市が、「住む人みんなに優しいまち」になってほしいというテーマで提案します。

私たちの住む熊毛地区は、周南市の東に位置し、緑がたくさんあるところです。地域の方々と関わる機会も多く、お年寄りから小さな子供までと一緒に楽しめる地域行事などもたくさんあります。一方で、昨年7月に大きな土砂災害があり、あらためて公共の交通機関や公共物の重要性について考えさせられました。こうしたことを踏まえて、住んでいるみんなに使いやすく、使って気持ちの良い施設や環境を整えることで、公共物を使用する機会が増え、住んでいる人同士の交流も深まり、よりよいまちに近づけると考えます。

まず、この願いを実現させるために、自分たちができることを考えましたので、一人ずつ発表します。

私は、みんなが公園を気持ちよく使えるように公園のトイレの清掃活動をしたいと思います。

◆沖本春生士議員

勝間小学校6年の沖本春生士です。ぼくは、みんなが気持ちよく生活できるような環境を整えるためにリサイクルをしたいと思います。そして、多くの人と優しさをもって関わるためにも、気持ちの良いあいさつをしたり、地域活動への協力をしたいと思います。

◆清実悠紀議員

勝間小学校6年の清実悠紀です。わたしは、学校で進んでごみを拾い、地域でも進んで拾うことができるような習慣を毎日の生活の中で身につけていきたいです。

◆木本朱音議員

勝間小学校6年の木本朱音です。わたしは、公園を使いやすくきれいにするために、ごみを捨てないよう呼びかけるポスターを作りたいと思います。

◆大澤里緒議員

勝間小学校6年の大澤里緒です。わたしは、自分たちの計画を多くの人に知ってもらうために、公園に案内板を立てるとよいと考えています。誰にでも見やすいデザインを私たちが考えれば、より多くの人が計画に共感し、公園を使う人も増えると思います。

◆清実悠紀議員

私たちのテーマである、「みんなに優しいまち」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

それは、公共施設での奉仕活動です。みんながまちの施設を気持ちよく使うために、進んで地域をきれいにしたり、使い方を呼びかけるポスターを学校で作成したりしたいと思います。

また、施設が整っても、人同士の思いやり、助け合いが一番大切だと思います。だから、まずは普段の学校生活の中でお互いを思いやった行動をし、地域や学校であいさつをしっかりと、絆を深めていきたいと考えます。

◆木本朱音議員

そこで、市長に提案します。

1つ目が、公園の整備です。私たちの住む勝間地区には、多くの公園や広場があります。しか

し、勝間地区の公園の遊具は古くなって危ない物も多く、トイレも古くて汚い状態です。公園は本来、多くの市民が集まって共に楽しむ場であるので、美しく使いやすい施設であるべきだと思います。

また、誰にでも安全に楽しく利用できる公園を作ることも大切だと思います。例えば、車いすに乗ったままでも楽しめるように、高さが60cmから80cmに設定された花壇を設置し、その花壇に植える花を小学校で育て、多くの人と楽しみながら植えれば、交流も深まります。花は、香りのよいものを選べば、目の不自由な方でも一緒に香りが楽しめます。

遊具については、車いすの方でも乗れるようなブランコがあると良いと思います。体を包み込むような形でシートベルトを付けたものや、介護者の方も一緒に乗れる仕組みの物を採用してほしいです。公園の入り口や滑り台などの遊具にスロープを採用することなども考えられますが、いかがでしょうか。

2つ目が、公共交通機関の充実です。熊毛は、夏にあった大雨による土砂災害で電車が走れなくなり、車での移動しかできなくなりました。バスはかけがえのない移動手段でした。そこで、誰もが使いやすい公共交通手段の充実が必要では無いかと思います。熊毛の狭い道でも通れるような小型のノンステップバスを増やしていただけないでしょうか。まちの人の交流を生むためには、バス停に屋根や壁、クッションを整備することなどを促進してはいかがでしょうか。

さらに、電車については、多くの人が気持ちよく使うためにも、車いすでも使える改札が必要だと思います。また、小さな子供や目の不自由な方がホームの位置を間違えることが無いようにホームへの柵の整備も必要だと考えます。より多くの人利用できる安全な駅の整備が必要だと思いますが、いかがでしょうか。

◎市長

勝間小学校の皆さんから、「みんなに優しいまち」ということで、誰にでも使いやすいユニバーサルデザインを取り入れたまちを作るための様々な提案を頂きました。住みやすく、そして活力あるまちにするためには、高齢者や身体に障害をお持ちの方など、誰にでも活躍できるチャンスがある、そういうまちにしなければならないなと思います。

公共交通機関の整備について、本当に岩徳線が再開して私も大変うれしく思いました。いろいろな人たちが活躍し、また安心して生活していくためには、公共交通の整備は不可欠だと思っています。そのためには、やはり公共交通をみんなが使えるような、利用するようなまちにしていかなければならないなと思います。

ノンステップバスについては、防長バスさんと、駅のホームや改札については、JRさんと実現に向けた協議を続けていきたいと思っております。

また、公園の整備は限られた予算の中で順序を決めて、出来る範囲からやっていこうと思います。そういう中で、一番皆様のご提案がすごいなと思ったのは、障害のある方と一緒に楽しめる花壇ということで、大変ユニークな目の付けどころだなと思いました。香りのよい花を選んで、目の不自由な方でも一緒に香りを楽しむ、議員の方の優しさがしっかり伝わるような提案だなと思いました。障害のある方も花壇づくりを通じて、まちづくりにより積極的に参加していただき、地域が花により潤うだけでなく、障害のある方にとっても、新たなまちづくりへの参加機会となり、ご本人にとっても有意義なことになると思います。花壇がどのような形がいいのか、場所はどこがいいのかなども研究し、導入に向けて前向きに取り組んでいきたいと思っております。

子どもからお年寄り、障害のある方まで、地域の人たちとよく話し合いながら、みんなに優しいまちにして、健康で活力のあるまちづくりを“共に”進めていきましょう。

○議長

再質問はありませんか。

◆大澤里緒議員

ユニバーサルデザインを取り入れた公園ができた場合、「勝間フレンドリー公園」という名前を付けることができますか。また、「周ニャン市認定！」の看板を立てるなど、この議会で認められたことを記念するような表示をつけることができますか。

◎市長

積極的なアピール、それは皆さん本人だけでなく、それを見たほかの子どもたちも、「よし、私もいろいろ考えてみよう」、「ぼくもアイデアを出してみよう」というきっかけになるので、とてもうれしく思います。

公園が新しくできることは、なかなか難しいことなので、まずは、提案されたような花壇が新しくできた場合には、その花壇をぜひ命名してもらえたらと思います。もちろん、その看板にはこのことも議会で出された提案であることも、分かるように、設置したいと思います。

○議長

他に再質問はありませんか。

◆沖本春生土議員

もし、ぼくたちの提案した公園が、周南市にできた場合、多くの人に利用してほしいので、「ユニバーサルデザインを取り入れたすてきな公園ができました」と周南市から市民の皆さんにお知らせをしてもらえませんか。

◎市長

オーケーです。勝間小学校の皆さんのアイデアで、公園や花壇ができたこと、またこども議会で提案されたという点もしっかり記載し、市民の皆さんにも広く宣伝してまいりましょう。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、勝間小学校の一般質問を終了いたします。

【 勝間小学校5名、議員席に移動 】

○議長

これをもって、一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

ここで、市長からあいさつがあります。

◎市長

議員の皆さん、本日は素晴らしい質問やご提案をいただきありがとうございました。皆さん、この議場での発言は緊張しましたか。頭かしらを振っている人もいますね。皆さんの質問や提案をお聞きして、学校の授業を通して自分たちが住んでいる地域について、どうしたら住みやすくなるか、また自分たちが、学校や地域でできることは何かを一生懸命考えてくれたことが伝わってきました。とても頼もしく感じました。皆さんの思いを私も職員もしっかりと受けとめて、少しでも実現できるように頑張りたいと思います。

そして私はいつも、“共に”という言葉をお大切にしまちづくりを進めております。皆さんこ

れから成長するにつれてですね、自ら考え行動できることも増えてきますが、大切なのは「人はひとりでは生きられない」ということです。共に支え合い、共に助け合い、共に分かち合うことで、学校や地域に笑顔があふれる、そして誰もが心豊かに生きていくことができるそういう社会が築かれてまいります。

皆さんは、今回のこども議会に向けまして、自分たちの住んでいるまちのことを、また同じ地域に住むたくさんの住民の皆さんのことを考えてくれたと思います。どうか成長しても、このまちに対するその想いをですね、大切にしてください。そしてこのまち、周南市に住んでいるということ誇りにして、地域活動などにも積極的に参加してもらいたいと思っています。皆さんはそれぞれの地域の、そしてふるさと周南市の宝物であります。大切な一員であります。未来の周南市のために”共に”まちづくりを進めてまいりましょう。本日はどうもありがとうございました。

○議長

私の方から、一言あいさつをいたします。皆さんは、今日のこども議会に備えて、しっかりと学校で学習されたことだろうと思います。その学習の成果が発揮できましたか。

皆さんが、日頃から心に留め、身近に感じている疑問や課題、そして未来の周南市にかける思いをしっかりとお聞きしました。もちろん、実現できることやできないこともあります。次の時代を担う皆さん方のために、議会も明るく住みやすいまちづくりに、市長とともに協力しながら取り組んでまいります。

皆さんも満18歳になると、政治に参加する権利である選挙権があり、市民の代表を選ぶことができます。そして、満25歳になると市議会議員に立候補することもできます。ぜひ、今日のこども議会を体験した皆さんの中からも、将来、議員を目指す方が出ることを期待しています。一緒に頑張りましょう。今日は本当にありがとうございました。

○議長

以上で、会議を閉じます。

平成30年度周南市こども議会を閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。

午後3時48分閉会

ここに署名する。

周南市こども議会 議員 前原 朱里

周南市こども議会 議員 福本 茉莉